

- 第4回検討会では、委員の意見等を踏まえて作成した「教育・訓練カリキュラム（素案）」を提示し、その構成・見せ方、掲載項目、内容について検討した。
- その際の委員のご意見を踏まえ見直しを行い、「教育・訓練カリキュラム（案）」を作成した。

＜教育・訓練カリキュラムについて(これまでの議論の確認)＞

目的及び性質	・ 自主防災組織の活動の活性化を目的に、都道府県や市区町村が行う人材育成の取組を支援する具体的な方策として、自主防災組織のリーダー等を育成するための研修を実施する際に参考となるよう作成。 ・ カリキュラムは、自主防災組織のリーダーが地域において自主防災活動に取り組む上で学習することが望まれる標準的な項目を網羅的にまとめ、その全体像を示している。 必ずしも、すべての項目を学習することが必須ではない。 ・ 研修プログラム例は、カリキュラムを参考に研修を企画する際に、自主防災組織のリーダーが地域で防災活動を推進する上で必要な基礎的知識全般や、優先度の高い取り組みをテーマとして設定し、例示している。
育成の対象者	・ 自主防災組織のリーダー ・ 自主防災組織の代表に就任して間もない方

○「教育・訓練カリキュラム（素案）」の見直しについて

第4回検討会において出された「教育・訓練カリキュラム（素案）」に関する委員の意見を踏まえ、以下の見直し方針の下、修正した。

⇒（【参照】資料2別添、資料3）

<見直し方針>

- 学習項目が多いため、類似した項目をまとめる。
- 自主防災組織のリーダーとなるべき人々に理解していただけるよう、やさしい言葉遣いへと修正する。
- 学習項目の並びは、カリキュラムの体系図で示している学習項目の位置づけの考え方を整理したうえで、見直す。
- 学習項目（大項目、中項目）の概要・位置関係が分かるよう、冒頭の概要説明部に、カリキュラムの体系図を掲載し、その見方について説明する。
- 冒頭の概要説明部に、カリキュラムと研修プログラム例との関連について説明する。
- 研修や訓練を企画する際の参考となるよう、取組事例、過去の災害事例、素材の入手先などの情報を参考資料URLに追加し、充実させる。
- その他、委員の意見を踏まえ見直す。

■「教育・訓練カリキュラム（素案）」に関する委員からのご意見と見直し（案）

※ 参考資料は、資料2参考資料「カリキュラム（案）一覧表」

背景：■ 大大項目 ■ 大項目 ■ 中項目

連番	参考資料 頁	No.	学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
1	1 ～ 9	A1	大大項目「基礎（自主防災活動を行う上で前提となる事項）」	<意見①> やさしい言葉 ・全体的に言葉遣いが難しい。<u>地域住民向けにやさしい言葉遣いなるよう工夫が必要。</u> ・項目名は漢字が多すぎるため項目名を見て何を学ぶのかが分かりにくく、改善が必要。特に専門用語は分かりやすくする必要がある。	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大大項目「基礎（自主防災活動を行う上で前提となる事項）」の名称を、「自主防災活動を行う上で前提となる事項」に修正
2	1	C1	中項目「地域における多様性と共生社会」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「地域における多様性と共生社会」の名称を、「多様な人達と共に生きる」に修正
3	2 ～ 3	B2	大項目「自主防災組織概論」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「自主防災組織概論」の名称を、「自主防災組織を理解する」に修正
4	2	C5	中項目「自主防災組織の役割、運営体制」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「自主防災組織の役割、運営体制」の名称を、「自主防災組織の役割等」に修正
5	2	C6	中項目「地域防災を推進する主体とその連携の方法」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「地域防災を推進する主体とその連携の方法」の名称を、「地域をとりまく団体等との連携」に修正
6	3	C7 C8	中項目「地域の防災計画等の立案と見直し」 中項目「地域の防災計画の策定」	<意見②> 類似項目は統合 よく整理できてはいるが、まだ項目が多いため<u>類似した項目をまとめてはどうか</u>。もし分けなければならないのであれば、明確に違った項目名にすべき。 <意見①> やさしい言葉	・中項目「地域の防災計画等の立案と見直し」と「地区防災計画の策定」は、類似した内容であるため統合 ・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、名称を「わがまち（地域）の防災計画」に修正
7	4	B3	大項目「地域の防災リーダーの役割」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「地域の防災リーダーの役割」の名称を、「地域の防災リーダーの役割を理解する」に修正

連番	参考資料		学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
	頁	No.			
8	4	C10	中項目「地域防災を担う人材の発掘・育成」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「地域防災を担う人材の発掘・育成」の名称を、「仲間を増やす」に修正
9	4	C11	中項目「防災と男女共同参画」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「防災と男女共同参画」の名称を、「性別にとらわれず地域防災に互いに協力して取り組む」に修正
10	5	B4	大項目「地域の災害危険性と被害想定」	<意見②> 類似項目は統合 <意見①> やさしい言葉	・中項目「地域の災害危険性と被害想定」と「各種災害の被害想定」の内容は、類似した内容であるため統合 ・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、名称を「わがまち（地域）の災害発生のおそれ」に修正
11	5 ↓ 1	C12 C13 ↓ C3	中項目「地域の災害危険性」 中項目「各種災害の被害想定等」	<意見③> ・大項目「基礎」の 大項目「地域を理解する」というのはたいへんよい。その中に過去の災害事例や地域のハザードマップなど災害の要素を入れるとよい。	・また、中項目「わがまち（地域）の災害発生のおそれ」の内容は、地域の特性を知ることであり、大項目「地域を理解する」の内容と関連性が強いいため、大項目「地域を理解する」の中項目に位置づけ移動 ・上記の中項目の移動に伴い、大項目「地域の災害危険性と被害想定」は削除
12	6 ～ 8	B5	大項目「各災害の基礎知識」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「各災害の基礎知識」の名称を、「災害を理解する」に修正
13	6	C14	中項目「災害発生メカニズムと被害」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「災害発生メカニズムと被害」の名称を、「災害発生のメカニズムと被害の種類」に修正
14	7	C15 C16	中項目「過去の災害事例」 中項目「教訓の伝承」	<意見②> 類似項目は統合	・中項目「過去の災害事例」と「教訓の伝承」は、類似した内容であるため統合し、名称を「過去の災害事例と教訓の伝承」に修正
15	8	C17	中項目「今後発生しうる主な大規模災害」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「今後発生しうる主な大規模災害」の名称を、「今後発生が懸念される主な大規模災害」に修正
16	8 ～ 9	B6	大項目「防災のしくみ」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「防災のしくみ」の名称を、「わが国・わがまち（市区町村、都道府県）の防災対策を理解する」に修正

連番	参考資料		学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
	頁	No.			
17	8	C18	中項目「我が国の災害対策」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「我が国の災害対策」の名称を、「わが国の防災対策」に修正
18	9	C19	中項目「市区町村の災害対策」	<意見①> やさしい言葉 <意見④> ・「防災のしくみ」については行政の窓口機関を理解するとか、メールに登録しましょうなどの要素をうまく混ぜて整理することもできる。	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「市区町村の災害対策」の名称を、「わがまち（市区町村、都道府県）の防災対策」に修正 ・学習内容（メニュー）例に、以下の内容を追加 ○わがまち（市区町村）が実施する家庭や自主防災組織等に対する支援策（助成、支援事業、あっせん等） ○わがまち（市区町村）が実施する防災研修・防災訓練（総合防災訓練、防災研修、出前講座、体験施設等） ○わがまち（市区町村）が発信する防災に関する情報（防災行政無線、ホームページ、防災メール（登録）等）
19	9	B7	大項目「災害に強いまちづくり」	<意見⑤> ・大項目「基礎」の大項目「災害に強いまちづくり」の内容は他の項目にも書いてあるため、重複のないよう整理した方がよい。	・大項目「災害に強いまちづくり」は、その内容が他の各中項目に含まれる内容であったため、削除。（学習内容（メニュー）例は適切な場所に移動、重複する場合は削除）
20	1 ～ 9	B1 B2 B3 B5 B6	大項目「基礎」の大項目の順番の見直し（体系図の下部の大項目）	<意見⑥> 大項目の順番 ・「カリキュラムの体系図」の「基礎」にある大項目「防災のしくみ」や「地域の災害危険性と被害想定」などは、「活動を行う中で事後的に学習することが望まれる専門的事項」の方（上の方）に位置付けられているが、 <u>下方に位置付けられてもよい</u> のではないかと。 ・地域についての基礎知識は自分達で学べるが、災害に対する基礎知識は特殊な知識であり自分達だけで学習するのは難しい。 <u>体系図内の位置付けを自分達だけで実施できることと、教材を使ってできることで整理してはどうか。</u>	・大項目「基礎」の大項目の順番を、「初めに学習することが望まれる事項」から「活動を行う中で事後的に学習することが望まれる専門的な事項」へと、下から上に配置する考えに基づき以下のとおり見直した。 体系図の下から以下の順番に 「地域を理解する」 「自主防災組織を理解する」 「地域の防災リーダーの役割を理解する」 「災害を理解する」 「わが国・わがまち（市区町村、都道府県）の防災対策を理解する」 ※上記は見直し後の名称

連番	参考資料		学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
	頁	No.			
21	10 ～ 14	A2	大大項目「災害予防」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大大項目「災害予防」の名称を、「災害への事前の備え」に修正
22	10	B8	大項目「災害に対する備え」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「災害に対する備え」の名称を、「災害に備える」に修正
23	10	C22 C23	中項目「我が家の安全対策」 中項目「我が家の耐震対策」	<意見②> 類似項目は統合	・中項目「我が家の安全対策」と「我が家の耐震対策」は、類似した内容であるため統合し、名称を「わが家の安全対策」に修正
24	11	B9	大項目「地域住民の防災活動の促進」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「地域住民の防災活動の促進」の名称を、「住民の防災に関する意識、知識を高める」に修正
25	11	C24	中項目「住民の役割」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「住民の役割」の名称を、「住民の防災意識の向上」に修正
26	11	C25	中項目「防災知識の普及・啓発」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「防災知識の普及・啓発」の名称を、「住民への防災知識の普及」に修正
27	11 ↓ 14	B10 ↓ B13	大項目「防災訓練・講習会の企画運営」	<意見①> やさしい言葉 <意見⑦> 大項目の位置 ・基礎的な知識を踏まえて、それを <u>実践する・演習する項目が「災害への対応」(図の上部)にあるとよいのではない</u> か。	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「防災訓練・講習会の企画運営」の名称を、「わがまち(地域)で防災訓練や講習会などを実施する」に修正。 ・併せて、中項目「防災訓練・講習会の企画運営」の名称を、「防災訓練・講習会等の実施」に修正
28	11 ↓ 14	C26 ↓ C32	中項目「防災訓練・講習会の企画運営」	・「 <u>災害予防</u> 」の大項目「 <u>防災訓練・講習会の企画運営</u> 」は、体制の構築があり、それを踏まえて訓練があるべきであるため、 <u>大項目「災害発生に備えた体制の構築」の後に移動してはどうか</u> 。	・組織体制の構築があり、それを踏まえて訓練があるため、また、防災資機材等を使って実施したりするため、学びの順番を意識し、大項目「わがまち(地域)で防災訓練や講習会などを実施する」を、大項目「防災資機材を管理する」の下に移動

連番	参考資料		学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
	頁	No.			
29	12 ～ 13	B11	大項目「災害発生に備えた体制の構築」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「災害発生に備えた体制の構築」の名称を、「わがまち（地域）の防災体制をつくる」に修正
30	12	C27	中項目「情報収集・伝達のしくみづくり」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「情報収集・伝達のしくみづくり」の名称を、「地域の情報収集・伝達」に修正
31	12	C28	中項目「避難所運営体制づくり」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「避難所運営体制づくり」の名称を、「地域が中心となった避難所運営体制」に修正
32	13	C29	中項目「要配慮者支援体制づくり」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「要配慮者支援体制づくり」の名称を、「要配慮者の地域ぐるみでの支援体制」に修正
33	13	C30	中項目「災害ボランティアの受援体制づくり」	<意見①> やさしい言葉 <意見⑧> ボランティアの受入だけでなく支援する側についても学ぶ 大項目「災害発生に備えた体制の構築」の中項目「 <u>災害ボランティアの受援体制づくり</u> 」については、 <u>支援と受援の両方を入れるべき</u> ではないか。少なくともボランティアを受け入れるだけではないことは書くべき。課題に抜け漏れないようにしようとする項目が増えていくため、メリハリをつけて整理する必要がある。	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「災害ボランティアの受援体制づくり」の名称を、「災害ボランティアの受入体制等」に修正 ・中項目「災害ボランティアの受入体制等」の中で「支援」についても学べるよう、学習項目の概要・学習内容（メニュー）例に支援に関する内容を追記
34	14	B12	大項目「防災資機材等の管理」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「防災資機材等の管理」の名称を、「防災資機材を管理する」に修正
35	14	C31	中項目「防災資機材等の管理」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「防災資機材等の管理」の名称を、「防災資機材の管理」に修正
36	15 ～ 18	A3	大大項目「災害応急対応」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大大項目「災害応急対応」の名称を、「災害への対応」に修正

連番	参考資料		学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
	頁	No.			
37	15 ～ 16	B14	大項目「発災直前・直後の対応」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「発災直前・直後の対応」の名称を、「発災の直前・直後に命を守る」に修正
38	15	C33	中項目「災害時にとるべき対応」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「災害時にとるべき対応」の名称を、「災害時にとるべき行動(全般)」に修正
39	15	C34	中項目「避難に関する情報」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「避難に関する情報」の名称を、「避難に関する情報の収集」に修正
40	15	C35	中項目「安全な避難」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「安全な避難」の名称を、「安全な避難行動」に修正
41	16	C36	中項目「情報収集・伝達」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「情報収集・伝達」の名称を、「住民の安否や地域の被害状況等の情報の収集・伝達」に修正
42	16	C37	中項目「初期消火」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「初期消火」の名称を、「初期消火活動」に修正
43	16	C38	中項目「応急救護」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「応急救護」の名称を、「応急救護活動」に修正
44	16	C39	中項目「救助」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「救助」の名称を、「救出・救助活動」に修正
45	17 ～ 18	B15	大項目「被災生活への対応」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「被災生活への対応」の名称を、「安心・安全に避難生活を送る」に修正
46	17	C40	中項目「避難所運営」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「避難所運営」の名称を、「避難所の開設・運営」に修正

連番	参考資料		学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
	頁	No.			
47	17	C41	中項目「在宅避難者対応」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「在宅避難者対応」の名称を、「在宅避難者への支援」に修正
48	17	C42	中項目「災害関連死を防ぐ取組」	<意見⑨> ・近年の災害で問題になっている「災害関連死」については、自治会の方々に知っておいていただきたい重要な項目であるため、中項目「在宅避難者対応(No.41)」の下に、 中項目「災害関連死」を追加してはどうか。	・大項目「被災生活への対応」の中項目として、中項目「在宅避難者対応」の下に、中項目「災害関連死を防ぐ取組」を新規に追加
49	17	C43	中項目「防犯秩序維持」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「防犯秩序維持」の名称を、「わがまち(地域)での防犯活動」に修正
50	18	C44	中項目「保健・環境衛生の確保」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「保健・環境衛生の確保」の名称を、「住民の健康を維持するための活動」に修正
51	18	C46	中項目「生活相談等」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「生活相談等」の名称を、「行政と住民をつなぐ」に修正
52	18	C47	中項目「災害ボランティアの受入」	<意見⑧> ボランティアの受入だけでなく支援する側についても学ぶ	・災害ボランティアの「受入」だけでなく「支援」についても学ぶよう修正するため、中項目「災害ボランティアの受入」の名称を、「災害ボランティアの受入等」に修正 ・中項目「災害ボランティアの受入等」の中で「支援」についても学べるよう、学習項目の概要・学習内容(メニュー)例に支援に関する内容を追記
53	19 ～ 20	A4	大大項目「災害復旧・復興」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大大項目「災害復旧・復興」の名称を、「暮らしと地域を再建するための取組み」に修正

連番	参考資料		学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
	頁	No.			
54	19	B16	大項目「施設、設備の応急復旧活動」	<意見①> やさしい言葉 <意見⑪> ・大項目「災害復旧・復興」の大項目「施設、設備の応急復旧活動」は、住まいの確保についても学ぶことが分かるよう、大項目を「住まいと施設、設備の応急復旧活動」に変更してはどうか。	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「施設、設備の応急復旧活動」の名称を、「地域基盤が復旧するまでを乗り切る」に修正 ・住まいの確保についても学ぶことが分かるよう、名称を「住まいと施設、設備の応急復旧活動」に変更してはどうかというご意見については、住まいの確保へ別の大項目を立てており、ここでは対象としていないため、名称に「住まい」は入れないこととした。
55	19	C48	中項目「施設、設備の復旧への対応」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「施設、設備の復旧への対応」の名称を、「ライフライン等が復旧するまでの対応」に修正

連番	参考資料		学習項目名（旧）	委員意見	見直し（案）
	頁	No.			
56	19	B17	大項目「地域の復旧・復興への住民の取組」	<意見⑩> <u>・大項目「災害復旧・復興」は、住民の取り組みの順番を考慮して中項目の順番を見直す。例えば中項目「災害廃棄物の処理」を災害応急対応の大項目「被災生活への対応」の中項目「保健・環境衛生の確保」の下に移動し、災害復旧・復興では被災した場合どういった支援があるかを全体的に知ったうえで住まいの確保や復興について学ぶといった流れに整理してはどうか。</u>	・中項目「災害廃棄物の処理」を、大項目「災害応急対応」の大項目「被災生活への対応」の中項目に位置づけ、中項目「住民の健康を維持するための活動」の下に移動 ・上記中項目の移動に伴い、大項目「地域の復旧・復興への住民の取組」は削除
57	19 ↓ 18	C49 ↓ C45	中項目「災害廃棄物の処理」	<意見①> やさしい言葉	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、大項目「住民と地域の復旧・復興への取組」の名称を、「暮らしと地域の再建に取り組む」に修正
58	20	B18	大項目「住民と地域の復旧・復興への取組」	<意見①> やさしい言葉 <意見⑩> <u>・大項目「災害復旧・復興」は、住民の取り組みの順番を考慮して中項目の順番を見直す。例えば中項目「災害廃棄物の処理」を災害応急対応の大項目「被災生活への対応」の中項目「保健・環境衛生の確保」の下に移動し、災害復旧・復興では被災した場合どういった支援があるかを全体的に知ったうえで住まいの確保や復興について学ぶといった流れに整理してはどうか。</u>	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「生活再建のための被災者支援」の名称を、「生活を再建するための支援」に修正 ・また、学習内容（メニュー）の最初に、<暮らしと地域を再建する取組の流れ>として、「住民の生活と地域を再建するための取組と流れ」を追加
59	20	C50	中項目「生活再建のための被災者支援」	<意見①> やさしい言葉 <意見⑩> <u>・大項目「災害復旧・復興」は、住民の取り組みの順番を考慮して中項目の順番を見直す。例えば中項目「災害廃棄物の処理」を災害応急対応の大項目「被災生活への対応」の中項目「保健・環境衛生の確保」の下に移動し、災害復旧・復興では被災した場合どういった支援があるかを全体的に知ったうえで住まいの確保や復興について学ぶといった流れに整理してはどうか。</u>	・学習者の立場にたったやさしい言葉を用いるよう、中項目「地域の復興」の名称を、「地域復興への参画」に修正
60	20	C52	中項目「地域の復興」	<意見①> やさしい言葉	・図上部の左にある「災害への対応」は、図の下部「自主防災活動を行う上で前提となる事項」と書きぶりを合わせ、図上部の左にある「災害への対応」を「災害対応に関する事項」に修正
61	—	—	体系図	※事務局による改善	

■「教育・訓練カリキュラム」の構成・内容に関する見直し

※ 資料3は、「教育・訓練カリキュラム(案)」

連番	資料3		学習項目名 (旧)	委員意見	見直し (案)
	頁	No.			
1	i ~ iii	—	2. カリキュラムの概要 (2) 本カリキュラムの体系	・「教育・訓練カリキュラム」の前段に、資料1別添(別紙1)「カリキュラム体系図」を入れたら、資料がより理解しやすくなるのではないかと。 ・体系図はプログラムと関係してくる。実際の研修では、時間配分を考えながら学習項目の内容を圧縮して学ぶといったこともあることを考えると、項目としては現在の形で提示しておき、「教育・訓練カリキュラム」の冒頭に体系図の見方等について説明してはどうか。	・「体系図」を挿入し、体系図の説明を追加した。
2	iv	—	2. カリキュラムの概要 (3) 本カリキュラムの活用方法	・体系図とプログラムは関連してくるため、「教育・訓練カリキュラム」の前段にカリキュラムの「学習項目」と「研修プログラム」の関連の考え方を説明するとよい。	・「学習項目」と「研修プログラム」の関連の考え方について説明を追加した。
3	全体	—	参考資料URL	・地域からは活動の取組事例を紹介してほしいといった要望が多いため、積極的に参考となる取組事例の情報源を掲載するとよい。 ・ハザードマップや過去の災害事例などの素材の入手先についても掲載するとよい。	・取組事例、過去の災害事例、素材の入手先の情報を「参考資料URL」の欄に追加した。 ・さらに使い勝手が良いよう、「参考資料URL」に掲載している資料の参照先が分かるよう、項目と掲載ページを追加掲載した。
4	—	—	リーダーが利用しやすくなる資料の追加	初めての防災に取り組む自主防災組織リーダーが「教育・訓練カリキュラム」を読むだけでイメージをつかむことができ、学習項目が選びやすくなるよう、「地域間でコミュニティをつなぎたいときはこれ」、「自助力をあげたいときはこれ」など、リーダーや地域が悩んでいる視点で補足説明する資料があるとよい。	・今後修正する。